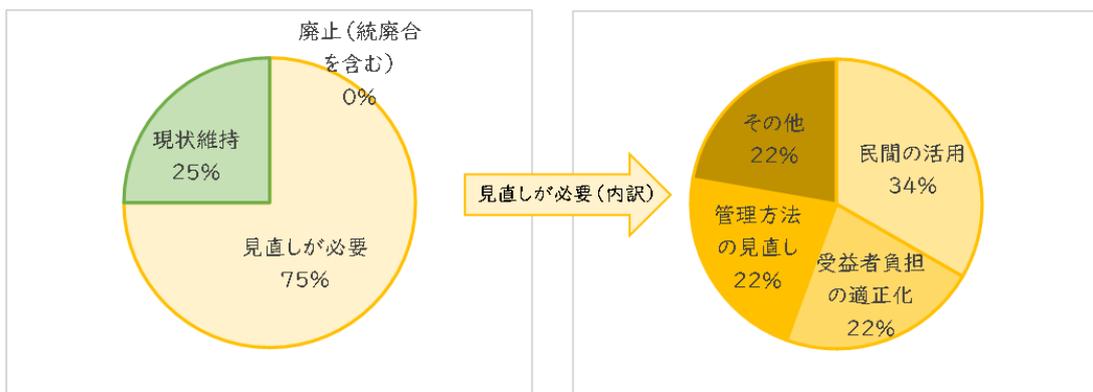


令和5年3月18日 田原本町住民協議会 施設レビューまとめ

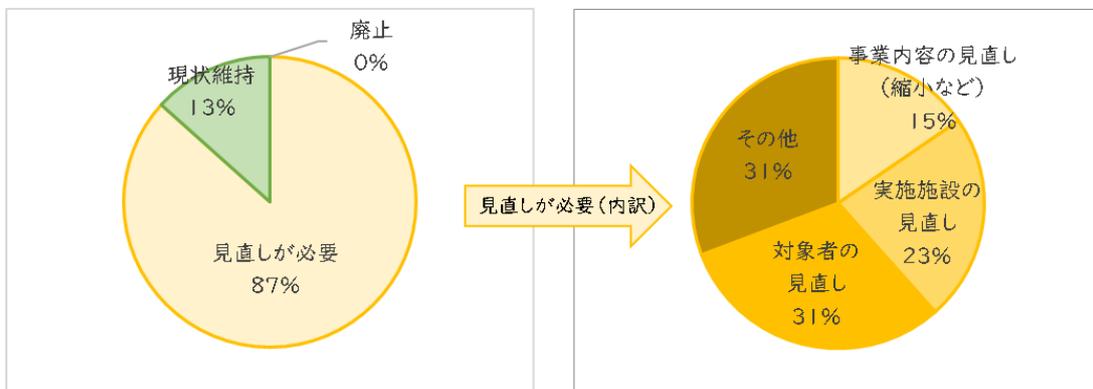
住民協議会の参加者に記入いただいた施設評価シートの集計結果および自由記載欄の内容は以下のとおりです。

■レビュー1 中央体育館

区分1 施設のあり方



区分2 施設の実施事業



<区分1 施設のあり方について>

(民間の活用)

- ・指定管理者制度(公募)を導入した方が良いのではないかと。
- ・他市では指定管理によりサービスが充実している例もある。
- ・スポンサーを募ってはどうか。
- ・ネーミング・ライツ(施設名に事業者名を付ける)を導入してはどうか。

(受益者負担の適正化)

- ・収入を上げる方法を考えた方が良いのではないか(利用料金の単価を上げるなど)。
- ・利用料金を見直すべき(特にナイター照明料を意識する)。
- ・隣接する民間施設は採算が採れていると思うが、行政施設となると赤字になってしまうことに疑問を感じる。
- ・民間感覚の運営をしてほしい。使用者の自己負担を多くした方が未使用者の町民と平等になるのではないか。
- ・民間よりも安価にすることで夜間の稼働率を上げられるのではないか。

(管理方法の見直し)

- ・夜間の稼働率が低いため、人件費を含め見直した方が良いのではないか。

(その他)

- ・他市町村の事例を参考に様々な方面から今後を考えることが重要だと思う(目の前のことだけでなく、長い目で考えることが大切)。
- ・実際に利用している人の意見を聞き、じっくりと進めていくことが大切だと思う。
- ・町民にアンケート等をして数多くの意見を聞くことが大切だと思う(特に小中学生に聞いて欲しい)。
- ・修繕費の試算および計画的な積立は不可欠。
- ・償還終了年度までの必要な大規模修繕の費用と元利償還費用を知りたい。
- ・国体までの地方債が終わった場合、大規模修繕に係る多額の地方債を新たに発行できるのか知りたい。
- ・災害時の避難所として充実させて欲しい(例:炊き出しやトイレ機能)。
- ・田原本中学校北側の体育館が町の施設であれば、用地を売却してはどうか。

(現状維持)

- ・良い体育館のため改修は必須。
- ・改修をしてでも必要な施設だと思う。
- ・住民の健康を考えるうえでも中央体育館の維持は必要だと思う。
- ・田原本町のスポーツの拠点として必要な施設だと思う。
- ・やすらぎ体育館との優先順位を付けるなら中央体育館から改修すべきではないか。
- ・充実した施設だが老朽化が進んでいるため、魅力的に見えるよう改修し、未来世代に受け継ぐ施設になって欲しい。
- ・屋外の劣化が多いように思うが、一方で屋内設備(照明、手摺り、床、ベンチ、冷水機)の劣化も見受けられる。改修してほしい。
- ・バスケットゴールとスケートボードパークについて、接触事故が起きないような工夫が必要ではないか。

<区分2 施設の実施事業について>

(事業内容の見直し)

- ・国体を誘致してほしい。
- ・国体誘致を想定しているのであれば、交通の利便性向上もセットで検討すべきではないか。
- ・やすらぎ体育館を廃止し中央体育館に一本化する場合は、交通手段等の工夫(シャトルバスの運行)が必要ではないか。
- ・大規模大会を開催することで知名度を上げてはどうか。
- ・健幸事業を充実させてほしい。
- ・トレーニングジムの利用者を増やすため、機能を充実させてほしい。

(対象者の見直し)

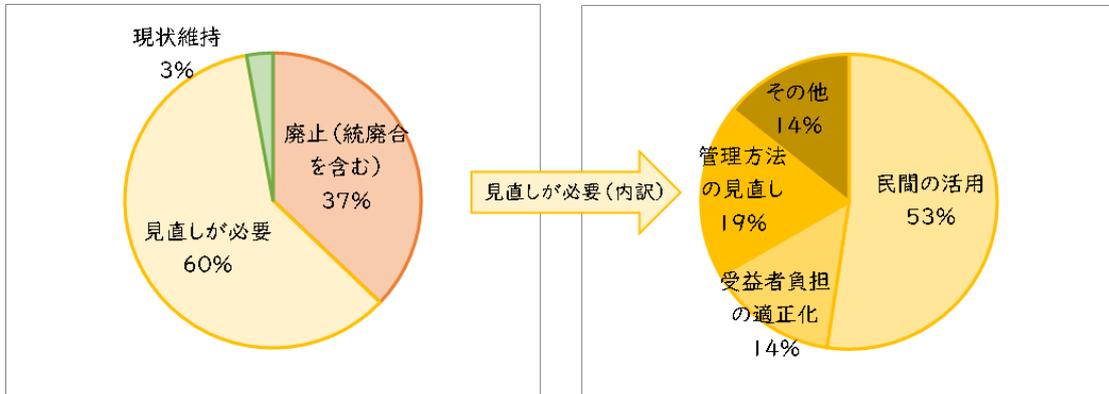
- ・団体のみでなく、個人の利用者も増やすべきではないか。
- ・大会や行事に限定した利用条件を緩和すべきではないか。
- ・駅に近い施設のため、町外の利用者も増えると思う。地域限定にしない方が良いのではないか。
- ・幅広い住民に利用してもらえる施設を目指してはどうか。
- ・青少年、成人、老人の世代ごとに新しいイベントを企画してはどうか。
- ・バリアフリー化をしてはどうか。
- ・今流行っている軽い運動量のスポーツを実施できるようにしてはどうか。
- ・バトミントン、バレー以外のスポーツもできるように改善してはどうか。
- ・会議室の稼働率が低いため、スポーツ関連以外の利用者にも貸し出してはどうか。

(その他)

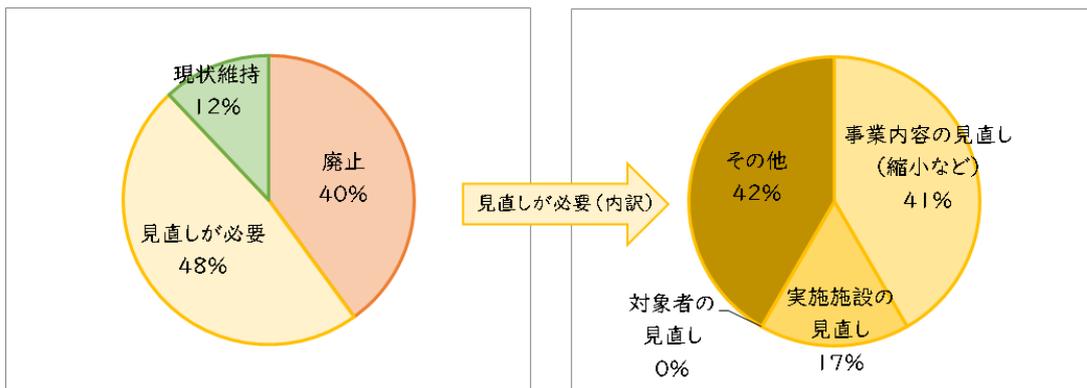
- ・行政と住民の橋渡しができるような部署を作ってほしい。
- ・スケートボードパークをもっとPRしてはどうか。

■レビュー1 やすらぎ体育館

区分1 施設のあり方



区分2 施設の実施事業



<区分1 施設のあり方について>

(廃止/統廃合を含む)

- ・施設の老朽化のため、中央体育館に統合してはどうか。
- ・統合は安易に思いつくことだが、何故進まないのか。
- ・修繕費が約6億円となるようなら他の施設に投資してほしい。
- ・財源確保のためにも、どこかの施設と統合することで、機材を使い回せるようにした方が良くはないか。
- ・体育館としては立地が良くないと思う。
- ・維持費や改修費が抑えられるなら廃止までしなくても良いと思う(抑えられないなら廃止もやむなし)。
- ・中央体育館とは異なるニーズがあるかもしれないが、将来人口を考えると使い倒して廃止が最適かもしれない。

- ・(解体するなら)解体費用についても算出すべきだと思う。
- ・土地を売却してはどうか。
- ・やすらぎ体育館を別施設と統合させた場合、現在の利用者をどうやって移動させるか検討する必要がある。
- ・田原本町の体育館は東西に一つずつ位置しているため、やすらぎ体育館を無くすと西に住む住民にとって不利益となる。
- ・稼働率が8割なので残して活用はどうか(さらなる努力で100%を目指せるのではないか)。
- ・稼働率が8割程度とあったが、一部の方のみの利用ならば公共性が高いとは言えないのではないか。
- ・町民の健康を考えるのであれば、安易な廃止は疑問である。

(民間の活用)

- ・(中央体育館と合併するなら)やすらぎ体育館は企業等へ貸すなどして少しでも収入を増やすべきだと思う。
- ・民間事業者へ施設を貸し出すことで利益を上げる方法は良いと思う。
- ・民間化を推進させる前提で建物を使い倒してはどうか。
- ・民間が受け入れてくれるようなら民間への貸出が望ましい。
- ・民間事業者へ相談するなどして、改修をしない活用方法を検討してはどうか。
- ・「体育館＝スポーツ」と固定しない発想を前提に、民間事業者へ貸し出してはどうか。
- ・住民から活用案を募集したり、民間事業者に活用へ向けた提案を促してはどうか。

(受益者負担の適正化)

- ・総支出の1/2の収入を得るための方策を考えるべき。
- ・使用料や備品の貸出料金が安すぎると思う。

(その他)

- ・やすらぎ体育館があることを知らなかった。
- ・中央体育館建設の2年後にやすらぎ体育館を建設したのは何故だろうか。
- ・子どもの遊べる広場が少ない。

<区分2 施設の実施事業について>

(事業内容の見直し)

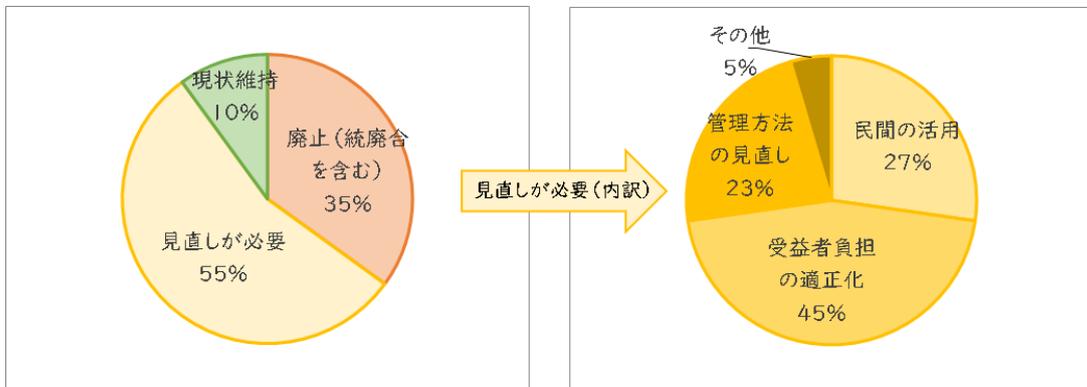
- ・やすらぎ体育館をドッグランとして活用してはどうか。隣接するやすらぎ公園には素晴らしい芝生があるため相性はとても良い。雨天時や猛暑日など天候を気にせず利用できる体育館があれば、町民だけでなく県内全域から愛犬家が集まると思う(愛犬家はお金を落としてくれる)。ドッグラン利用料として1頭あたり500円~1000円は徴収可能だと思う。

(実施施設の見直し)

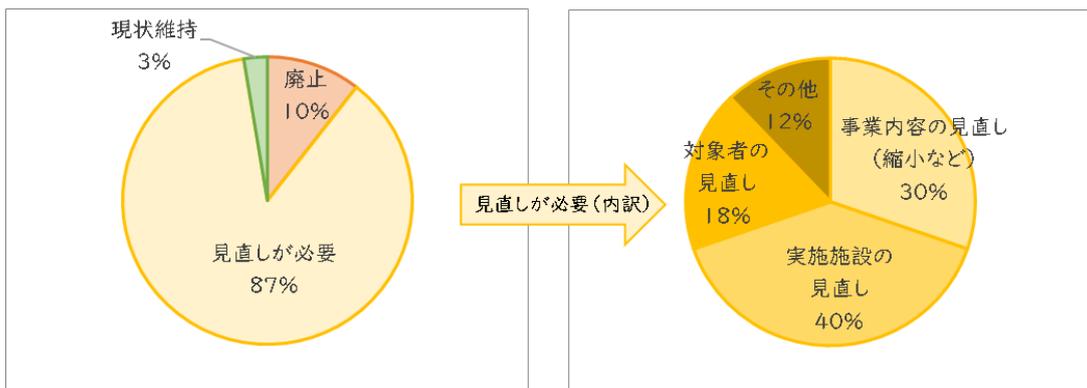
- ・小中学校の体育館で代用できるのではないか。

■レビュー2 老人福祉センター

区分1 施設のあり方



区分2 施設の実施事業



<区分1 施設のあり方について>

(廃止/統廃合を含む)

- ・ほとんどが浴場利用者であり、減少傾向かつ固定化されている状況を踏まえると、大規模改修は行わず将来的に廃止でどうか。
- ・ふれあいセンターへ統合してはどうか。
- ・ふれあいセンターへ人を運ぶ手段があれば廃止で良いと思う。
- ・少子高齢化がさらに進む見込みのなか、今後は体育館よりも温浴施設のニーズは増えると思うので、これらの施設に投資すべきだと思うが、財政負担を減らすためにもふれあいセンターへ統合した方が良いと思う。
- ・各家庭に風呂は付いており、老人福祉センターの稼働率も高いわけではないので、ふれあいセンターへ統合で良いのではないかと(統合した場合は自治会単位で利用日を決めてシャトルバスで送迎してはどうか)。

- ・立地があまり良くないので廃止でどうか。
- ・民間施設も増えてきているので、この施設を維持していくことは非効率だと思う。
- ・新型コロナウイルス等で3年程度利用していないが、特に不便に感じなかった。
- ・老人福祉センターが廃止となり、不便となってしまった場合は、循環バスを運行してはどうか（駅→国保病院→オークワ→コメリ→青垣→役場→駅など）。
- ・廃止となった場合はマイクロバスを効率的に活用できるのではないか。
- ・浴場は廃止するが、耐用年数に至るまでは住民や地域が管理しながら活用を検討してはどうか。
- ・施設は廃止して、ゲートボール場など「ランニングコストのかからない屋外憩いの場」として多世代型交流施設へ用途変更することが望ましいのではないか。

（民間の活用）

- ・民間施設の利用補助を最大限活用すべき。
- ・タクシー運賃補助で民間施設の利用へ促してはどうか。
- ・民営化して使用してはどうか（出前など利用効率化を図る）。

（受益者負担の適正化）

- ・利用料金を少しでも徴収すべきだと思う。
- ・利用料金が全て無料とは驚いた。
- ・廃止するまでの間は利用料金を課すことも検討すべきではないか。
- ・建替えをする前提となれば、少しの利用料金を徴収したところで焼け石に水である。

（その他）

- ・ゲートボール場が必要であれば、併せてトイレ、手洗い場のみの管理で良いのではないか。
- ・檀原市にシルクの杜というお風呂、温水プール、ジムを有する施設があるが、平日にも関わらず多くの人で賑わっている。現在の老人福祉センターをベースに新たなジムやプールなどを増築できるのであれば今以上に利用者も増え、収益も見込めるのではないか。

（現状維持）

- ・入浴は憩いの場である。入浴施設があることで友人を誘ってみようと思える。
- ・月1回の高齢者の憩いの場となっていることも考慮してこれからを検討すべき。
- ・独居老人の自宅入浴には火災や死亡の危険もある。
- ・入浴によりコミュニケーションが図れることは事実である。
- ・高齢者の心と体の健康のため、大浴場は必要だと思う。
- ・もっと広く深く考えていくことが良いと思う。利用者や未利用者の意見をもっと聞いて話し合いを進めることが大切だと思う。

<区分2 施設の実施事業について>

（事業内容の見直し）

- ・送迎はタクシーに変更してはどうか。

- ・一人でも楽に気軽に行けるように交通手段を見直してはどうか。
- ・現在の実施事業は本当に老人の健康促進に繋がる活動になっているのか。

(実施施設の見直し)

- ・高齢者の方が外出できる場所の確保はとても重要。今後拡充して欲しい(それならば青垣に集約か)。
- ・老人クラブによる事業は他施設(青垣)でも実施可能ではないか。
- ・浴場は中央体育館のシャワー室を改造してはどうか。
- ・ゲートボール場は中央体育館テストコース横へ新設してはどうか。
- ・高齢化は今後進行するので、高齢者の生涯学習等に関わる場所は、別の施設も含め今後も維持充実する必要があると思う。
- ・会議室は青垣で代替可能ではないか。
- ・本当に老人福祉センターでしか実施できないのか。

(対象者の見直し)

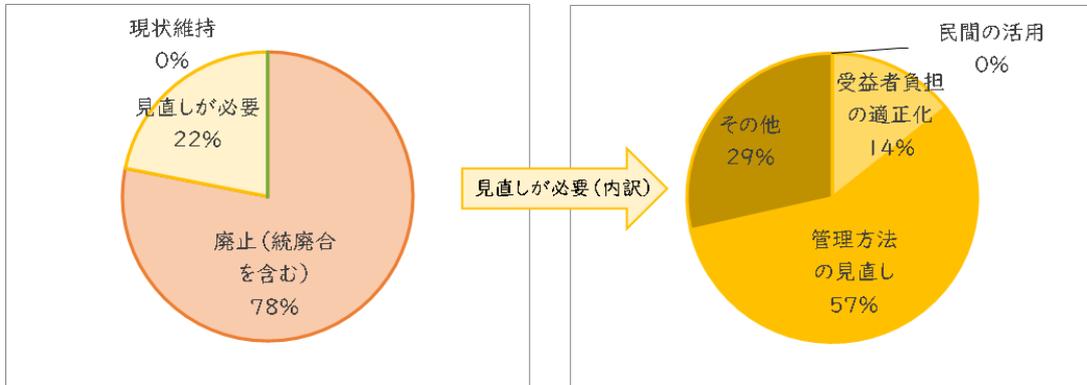
- ・利用者の実情を把握することが重要である。独居老人など入浴サービスを本当に必要としている場合も多い。
- ・介護利用の充実を図ってはどうか。
- ・浴場利用対象者の年齢を検討してはどうか。
- ・高齢者に特化した施設は必要である。

(その他)

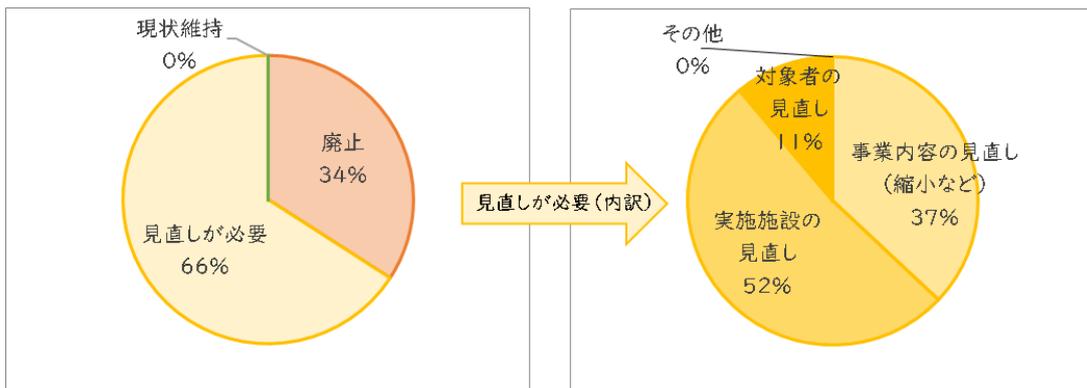
- ・毎日お湯は入れ替えて欲しい。

■レビュー3 さわやか交流センター

区分1 施設のあり方



区分2 施設の実施事業



<区分1 施設のあり方について>

(廃止/統廃合を含む)

- ・昔は隣保館の事業として識字教室などが実施されていたが、今はその名残で各教室が実施されているまでのこと。現代にこの類いの施設が残されていること自体おかしいと思う。
- ・今の時代において、同和対策事業はあまり必要ないと思う。
- ・稼働率があまりに低いため廃止で良いと思う。
- ・事業内容がどこでも実施できる内容のため、この施設の強みが感じられない。
- ・さわやか交流センターとふれあいセンターが別施設とは知らなかった。
- ・調理室の必要性に疑問を感じる。
- ・もっと早く廃止の検討をするべきだったと思う。
- ・まずもって、建物がさわやかではない。

(管理方法の見直し)

- ・ふれあいセンターとの一体運営が望ましい。

<区分2 施設の実施事業について>

(事業内容の見直し)

- ・本来目的である人権啓発の活動をしっかりと実施すべきだと思う。
- ・本来の設置目的にそぐわない活動となっているのではないか(給食や体操などコミュニティや健康が大きな目的になっているように感じる)。
- ・子育て、DV、虐待などに関する一連の相談しやすい窓口を設けてはどうか。
- ・人権に関する各種相談窓口は必要であるため、他施設で実施している同様の教室でなく、もっと地域住民の交流や相談の場となるような再検討が必要ではないか。
- ・この施設自体が知られていないので、ポスターやイベントを増やしてはどうか。
- ・子どものアフタースクールにしてはどうか。
- ・施設内でダンスや体操、キッズアンバサダーも増やすと良さそう。
- ・文化庁、スポーツ庁で流行っている物を取り入れると利用者が増えそう。

(実施施設の見直し)

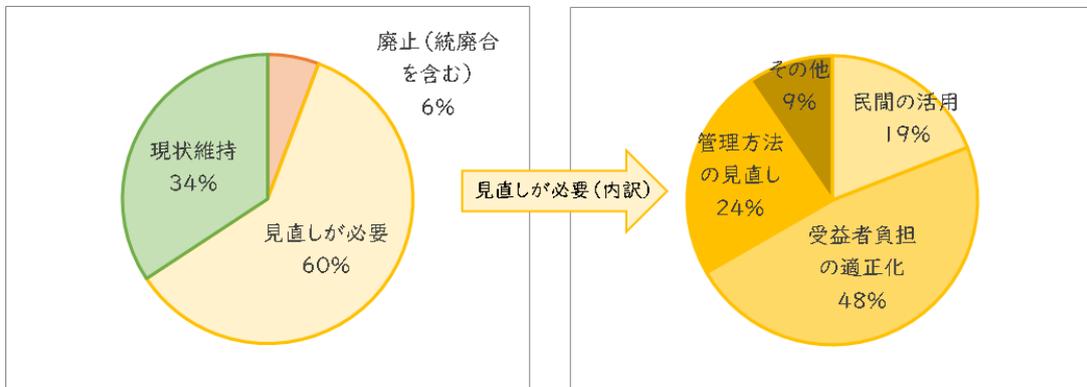
- ・青垣で教室を開催することが出来るのではないか。
- ・集会はふれあいセンターで開催すれば良いのではないか。
- ・文化系教室は青垣の部屋で実施し、体育系教室はスポーツ施設で実施できるのでは。

(その他)

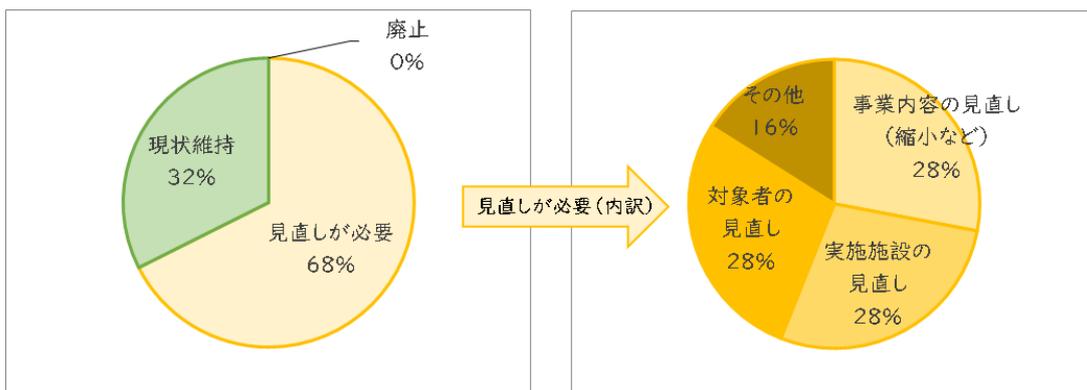
- ・補助金目的は税金の無駄遣いではないか。

■レビュー4 ふれあいセンター

区分1 施設のあり方



区分2 施設の実施事業



<区分1 施設のあり方について>

(廃止/統廃合を含む)

- ・年間4,800万円の経費が多すぎるのではないか(図書館や児童館は青垣へ統合できるのではないか)。

(民間の活用)

- ・広く公募をかけた指定管理者制度の導入が望ましいのではないか。
- ・指定管理者が長年同様であることのデメリットもあるのではないか。
- ・指定管理料が高すぎるのではないか。

(受益者負担の適正化)

- ・学童保育を有料にしてはどうか。
- ・老人福祉センターの浴場を廃止し、その受け入れ先となった場合は、受益者負担の適正化について熟慮していく必要がある。

- ・将来の維持修繕を考慮すると少しでも入浴料を徴収すべき。
- ・年間3万人もの利用者がいれば、100円／人でも徴収すれば300万円の増収となる。
- ・障がい者手帳を持っている方や介護認定者は減免で良いのではないか。

(その他)

- ・これからの時代、地方ひいては国にとって子育ては非常に重要である。現状に満足しないで日々改善して行って欲しい。
- ・さわやか交流センターとの統合でより活用しやすくなると思う。
- ・小さな子どもから高齢者までの利用があることからバリアフリー化すべき。
- ・(財政的には難しいかもしれないが)施設自体の魅力を向上させることに力を入れて欲しい(外観など)。
- ・長期的には大きな箱よりも地域で子どもが身近に遊べるような場所を整備していくことが望ましいと思う。

(現状維持)

- ・近隣市町村には身障者用入浴設備の存在するところが限りなく少ない。当事者にとってはとてもありがたいことなので、現状維持して行ってほしい。
- ・予約なしで気軽に子どもを連れていけることがありがたい(この児童館の良さ)。
- ・利用しやすい。明るい。
- ・児童館事業もきめ細やかな内容で評価に値する。
- ・親子の利用が増えている(土、日が特に。利用者の口コミで広がっている場合もある)。
- ・独り身の高齢者のためにも憩いの場を継続させてほしい。
- ・高齢者にとっては健康管理上最も役に立つ施設である。是非、現状維持してほしい。
- ・将来を考えて積立金をしっかりと考えて欲しい。
- ・町の西エリアにもふれあいセンターを設置することは出来ないか。

<区分2 施設の実施事業について>

(事業内容の見直し)

- ・一時保育など収益を得られる事業を展開できるのではないか。
- ・「てらこやくらぶ」の充実を図ってほしい。
- ・給食を再開できると良い。
- ・町内の住民が誰でも行けるように交通の利便性を高める必要がある(巡回バスの導入など)。
- ・ふれあいセンターが元気なうちに田原本町立温泉を作ってはどうか(運営は半官半民)。

(対象者の見直し)

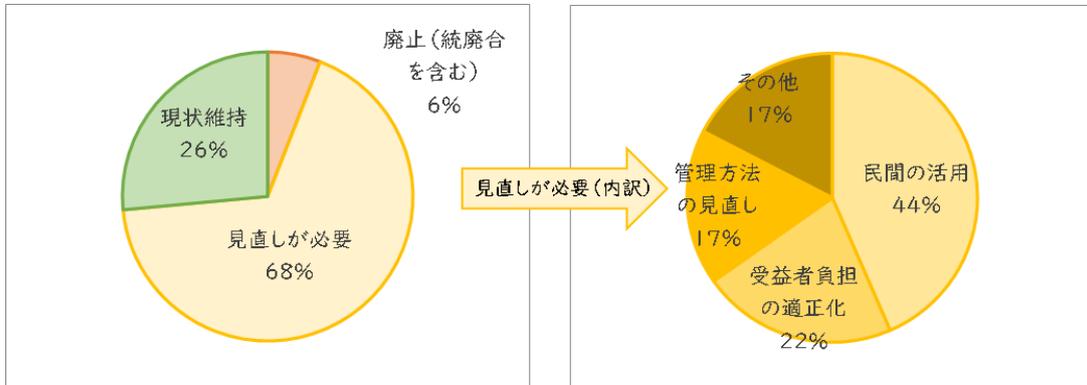
- ・田原本町民だけでなく、奈良県民が利用できるようなると良い。

(その他)

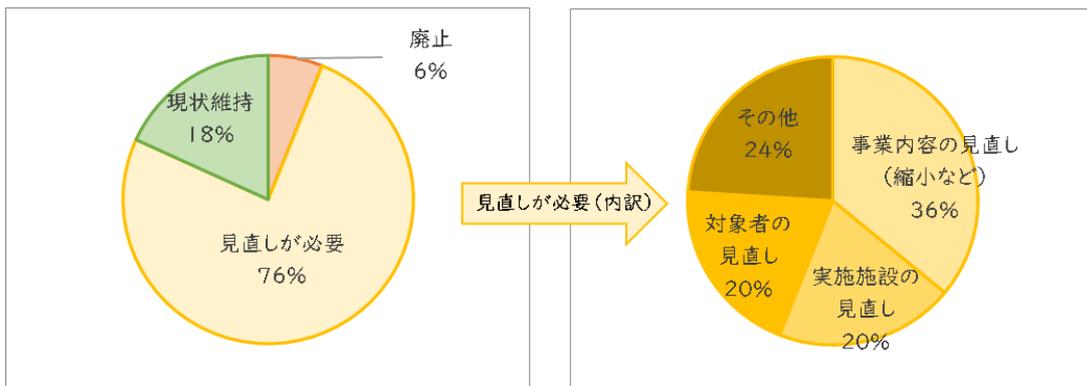
- ・町の東寄りに位置しているため、広報等で周知し、さらなる利用促進を図って行って欲しい。

■レビュー5 町民ホール

区分1 施設のあり方



区分2 施設の実施事業



<区分1 施設のあり方について>

(民間の活用)

- ・民間利用の多様化を進めることが望ましい。
- ・長期的な民間への貸出は反対。

(受益者負担の適正化)

- ・もう少し利用料金を引き上げても良いと思う。
- ・利用者がある程度特定されているにも関わらず、町の支出が多すぎるように感じる。
- ・比較的稼働率の高い町民ホールは「収入>支出」にできる対応を目指したい。

(管理方法の見直し)

- ・開館日数が357日と多く、人件費も多く掛かっている。稼働率が70%程度であれば、休館日を設けても良いのでは。

<区分2 施設の実施事業について>

(事業内容の見直し)

- ・フリーマーケットなど地域の人たちがふれあえるような事業を展開してほしい。
- ・他の町にはない魅力的な事業を展開してほしい。
- ・田原本町民を増やすための移住テスト地として活用してはどうか(1週間滞在やグランピングなど)。
- ・桜井市の「ひみっこパーク」の小規模版+一時託児所として、乳幼児の子育て世代が雨天でも集える場所にしてはどうか。
- ・農産物の直売所にしてはどうか。
- ・磯城野高校生によるふれあい動物教室やお話会を開催してはどうか。
- ・子どもと高齢者がコミュニケーションを図れるイベントの開催はどうか。
- ・田原本町のキャラクター「タワラモトン」をメインに地域のキャラクター大集合イベント開催はどうか。
- ・桃太郎発祥の地でキャラクターと共に田原本特産の販売を実施してはどうか。
- ・防災対策に活用はどうか(一定の空きスペースは仕方が無いと思う)。
- ・放送設備やピアノがあるので、コンサートや映画上映会の開催などはどうか。
- ・ふるさとハローワークなどの就労支援機能を設けてはどうか(若者、障がい者、女性、高齢者)※田原本町の管轄が桜井市ハローワークなので遠い。
- ・コンビニ、FM局、町長の部屋、町議会、銀行などはどうか。
- ・アンケート等で住民の声を聞いた上で決めていけたら良いのではないか。
- ・結婚式を挙げられるようにしてはどうか(礼装のまま届けを出すイメージ)。
- ・定期的なフードロスの持ち込み提供はどうか。
- ・月1回程度の高齢者向け健康チェック、運動チェックを実施してはどうか(数値の悪い方には個別で運動指導するなど)。
- ・スターバックスのようなコーヒーショップが出来ると様々な世代が集まるのではないか。

(実施施設の見直し)

- ・貸館は青垣で代替できるのではないか。
- ・貸館としては各自治会の公民館で代替できるのではないか。
- ・実施事業は青垣で十分に代替可能だと思う。

(その他)

- ・町民ホールの存在を知らない住民も多いのではないか。この存在を町内外に知られるようにしてほしい。良い建物がもったいない。